

## 第二次選定の検討対象種一覧 無脊椎動物(陸生節足動物を除く)(案)

\*要: 要注意リスト掲載種、日本生態学会ワ-スト100 IUCNワ-スト100

和名	学名	*	生息域	導入経路 導入手段	文献等で指摘されている 影響の内容	摘要
第二次の特定外来生物の選定作業が必要と考えられる外来生物						
カヒバリガイ	<i>Limnoperna fortunei</i>	要	淡水産	非意図的 水産物への混入	生態系(競合・駆逐)	諸外国では在来生物群集の生息地を圧迫するなどの被害がある。また、本種を中間宿主とする寄生虫による魚病被害や大繁殖による導水管の通水障害が発生している。水産資源(アサリ、シジミなど)の輸入の際に混入する。
カホトキスガイ	<i>Dreissena polymorpha</i>	要	淡水産	非意図的 物資等への混入	生態系(競合・駆逐)	国内での被害の知見は明確でないが、諸外国では取水施設への汚損被害や、在来二枚貝への付着による死亡などの多大な被害を与えている。輸入物資等へ混入して侵入する危険性がある。
ヨーロッパミドリガニ	<i>Carcinus maenas</i>	要	海産	非意図的 プラスチック等	生態系(捕食)、 農林水産業	国内では未定着であるが、諸外国では水産業への被害や在来生物への捕食など多大な被害を与えている。
ヤマヒタチオビ (オヒタチオビガイ)	<i>Euglandina rosea</i>	要	陸生	意図的 天敵導入	生態系(捕食)	小笠原固有の陸貝を捕食し激減させている。分布拡大を防ぐ必要がある。
ニューギニアヤリガタリクスムシ	<i>Platydemus manokwari</i>	要	陸生	非意図的 不明	生態系(捕食)	小笠原固有の陸貝を捕食し激減させている。土壌に紛れての非意図的な拡大が懸念されるために、分布拡大を防ぐ必要がある。

### 被害に係る一定の知見はあり、被害の防止に向けた普及啓発・防除手法の具体的検討を進めつつ、引きつづき、指定の適否につき検討する外来生物

ウチダザリガニ	<i>Pacifastacus leniusculus</i>	要	陸水産	意図的 食用・蓄養	生態系 (競合・駆逐、捕食)	北海道における在来種への影響等が懸念されている。食用利用され、また観賞用としても流通しているために、適切な管理下での利用が必要。
アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	要	淡水産	意図的 食用・増養殖	生態系(競合・駆逐、捕食、 環境攪乱など)	既に広範囲に分布しており、特に希少な水草や水生昆虫への影響が懸念される。大量に使用されていると思われるが、安易な利用は行わないなどの普及啓発が重要。
チュウゴクモクスガニ	<i>Eriocheir sinensis</i> , <i>E. hepuensis</i>	要	海産～ 淡水産	意図的 食用・蓄養	生態系(競合・駆逐、遺伝的 攪乱)、農林水産業	諸外国では生態系・水産業へ多大な被害を与えており、日本では在来種との交雑の可能性も示唆されている。食用として大量に輸入され、国内での養殖の動きも見られることから、野外への逸出が懸念される。
ムラサキガイ	<i>Mytilus galloprovincialis</i>	要	海産	非意図的 プラスチック等	生態系(競合・駆逐、遺伝的 攪乱)、農林水産業	既に広範囲に分布しており、内湾生態系を一変させてきた。養殖貝類・取水施設等への付着により多大の被害を与えている。在来種との交雑が発見されており、遺伝子攪乱が懸念される。防除は困難であるが、大量発生時の汚染被害等に注意が必要。一部で養殖が行われている。
カサネカンザシ	<i>Hydroides elegans</i>	要	海産	非意図的 プラスチック等	生態系(競合・駆逐、環境攪 乱)、農林水産業	養殖カキの殻表面に付着し養殖業に多大な被害を与えたほか、取水施設への汚損被害を引き起こしている。被害に係わる知見は多いが、既に広範囲に分布しており、駆除、防除が難しい。大量発生時には汚染被害等に注意が必要。
ミドリガイ	<i>Perna viridis</i>	要	海産	非意図的 プラスチック等	生態系(競合・駆逐、遺伝的 攪乱、環境攪乱)、農林水産 業	養殖貝類・取水施設等への付着により多大の被害を与えている。既に広範囲に分布しており、防除は困難である。大量発生時の汚染被害等に注意が必要。

\*要:要注意リスト掲載種、日本生態学会ワ-スト100 IUCNワ-スト100

和名	学名	*	生息域	導入経路 導入手段	文献等で指摘されている 影響の内容	摘要
----	----	---	-----	--------------	----------------------	----

関係者に利用等に当たっての注意を呼びかけるとともに、被害に係る知見等の情報の集積を図る必要がある外来生物

イガイダマシ	<i>Mytilopsis sallei</i>	要	海産	非意図的 ハラスト水等	生態系(競合・駆逐、環境攪乱)	インドでは船舶・取水施設への汚損被害を与えている。日本でも分布を広げており、在来付着生物との競合が懸念されている。国内での被害の知見は明確でないが、今後はハラスト水等の適切な管理に注意が必要。
タイワンシジミ種群	<i>Corbicula fluminea</i>	要	淡水産	意図的 食用・蓄養	生態系 (競合・駆逐・遺伝的攪乱)	アメリカの河川で大繁殖し、船舶の通行障害や在来二枚貝の生息を圧迫する等の被害を引き起こしている。国内での被害の知見は明確でないが、分布を拡大中の外来生物であり、分布拡大を防ぐための普及啓発が必要。
シナハマグリ	<i>Meretrix petechialis</i>	要	海産	非意図的 食用・蓄養	生態系(遺伝的攪乱)	国内での被害の知見は明確でないが、蓄養・放流時には拡散防止の注意が必要。
カニヤドリカンザシ	<i>Ficopomatus enigmaticus</i>	要	海産	非意図的 ハラスト水等	生態系(競合・駆逐、環境攪乱)、農林水産業	ヨーロッパでは取水障害などの被害を与えている。国内での被害の知見は明確でないが、ハラスト水等の適切な注意と管理が必要。
チチュウカイミドリガニ	<i>Carcinus aestuarii</i>	要	海産	非意図的 ハラスト水等	生態系(捕食)	在来種との競合の可能性がある。国内での被害の知見は明確でないが、既に分布を拡大中の外来生物であり、ハラスト水等の管理などにて分布拡大を防ぐことが必要。
コウロエンソウカビハリガイ	<i>Xenostrobus securis</i>	要	海産	非意図的 ハラスト水等	生態系(競合)、農林水産業	既に広範囲に分布しており、防除は困難であるが、大量発生時の汚損被害等に注意が必要。
タテジマフジツボ	<i>Balanus amphitrite</i>	要	海産	非意図的 ハラスト水等	生態系(競合・駆逐)	在来種と競合し、減少させた可能性がある。国内での被害の知見は明確でないが、ハラスト水等の適切な管理に注意が必要。
カラムシロ	<i>Nassarius sinarus</i>	要	海産	非意図的 水産物への混入	生態系(競合)、農林水産業	有明海においてハゼ漁などに多大な被害を与えている。水産資源(アゲマキなど)の輸入の際に混入するので、水産資源の輸入の際には注意が必要。

諸外国で被害の知見があるが、わが国で被害を及ぼすおそれは高くない生物

ムネミオプシスレイディ (ツノクラゲの一種)	<i>Mnemiopsis leidyi</i>		海産	非意図的 ハラスト水等	生態系(捕食・競合)	黒海では、捕食によりプランクトンの群集構造に影響を及ぼし、プランクトン食の魚類の減少を引き起こした。
セルコパジス・ペンゴイ (オオメジシコ科の一種)	<i>Cercopagis pengoi</i>		汽水～ 淡水産	非意図的 ハラスト水等	生態系(捕食・競合)	海外で稚魚や他の水生生物の餌となる小型の動物プランクトンを捕食し、在来生物の成長阻害や減少を引き起こしていると考えられている。